酪農家苦境、登録にも影響

４年度都府県は血統９％、審査15％減

日本ホル協会
第73回総会

一般社団法人日本ホルスタイン登録協会（前田勉会長）は6月23日、東京都内で第73回通常総会を開催し、令和4年度事業報告・収支決算、令和5年度事業計画・収支予算、会費徴収方法等について原案どおり可決承認された。昨年来の飼料や燃油等価格の高騰によって酪農経営は苦境に立たされているが、その影響は登録頭数の減少にも及び、特に都府県では、血統登録で前年度実績に対して9％減、体型審査頭数で15％減となり、厳しい決算になった。

４年度会員申込は初めて1万名切る

令和4年度事業報告では、昨年6月24日開催の通常総会で役員改選が行われ、総会後の理事会で前田会長ほか三役等が再選された。理事会は7回開催され、特に8月の臨時理事会では第16回全共の北海道開催を決定した。また、本年2月には3年ぶりに東西社員会議を対面式で開催することができた。

4年度の会員申込数は全国で9724名になり、初めて1万名を切った。血統登録申込は21万6718頭、前年度対比94・8％で、飼料等の価格高騰や酪農家の離農急増の影響を受け、特に都府県の血統登録は前年度に比べて9％減少した。体型審査頭数も全国で2万9938頭、前年度対比87・1％で、都府県は15％の大幅な減少となった。検定成績証明は7万502件で僅かな減少に留まった。

遺伝子型証明は血統登録頭数の減少に伴って親子判定等がやや減少したが、SNP検査は前年度に比べて17％増加した。また、本年1月から遺伝子型検査による無角の判定を開始した。

耐病性指数、長命連産効果見直しも

情報提供では、日本ホル協Webサイトのリニューアルと、高能力牛や高得点牛等を公開したほか、スマートフォンで検索できる近交回避や登録情報活用システム（RIUS）の内容充実を図った。また、SNP検査申込者に対してWeb上で提供しているハプロタイプ情報に無角の情報を追加した。

調査研究では、JRA畜産振興事業により耐病性指数の開発と長命連産効果の見直しを行ったほか、後代検定娘牛の体型調査、搾乳ロボット適合性指数開発のための体型データ収集、SNPデータによる血縁矛盾調査、遺伝評価に利用する体型及び泌乳形質の血縁構築等を行った。

前田会長

研修会関係では、地区別登録委員研修会や登録事務担当者会議等をWebで開催したほか、県単位の共進会審査や登録・審査講習会の講師を派遣し、登録推進や牛の見方の実習を行った。このほか、機関誌として「全酪新報日ホ特集号」を年4回発行、登録委員だより や自動登録マニュアル、ホルスタイン手帳の発行、審査成績・検定成績優秀牛群ほか各種表彰、ジャージー登録事業の実施、日本ホルスタイン会館の有効活用と運営に努めた。

登録事業は赤字決算５年度も厳しさ増す

左表の令和4年度正味財産増減計算書内訳表では、登録事業からなる実施事業会計の経常収益合計は11億7658万円で、経常費用合計を差し引いた当期経常増減額は8382万円の赤字決算になったが、その他会計（ホルスタイン会館賃貸事業）と法人会計を合わせた当期一般正味財産増減額の総合計では何とか219万円の黒字決算になった。

また、令和5年度収支予算書内訳では、実施事業会計の正味財産増減額は9181万円の赤字を見込んでおり、これらの赤字をその他会計で補填していく等、引き続き厳しい財務状況が続くことが予想される。

11月フランスで世界会議開催

令和5年度も飼料価格の高止まり等によって酪農での生産コスト上昇と生乳需給緩和に伴う生産抑制が継続実施され、厳しい酪農経営と離農が心配される。その影響は登録事業に及ぶことを踏まえて、事業計画では前年度に引き続き、自動登録の普及拡大と登録の精度向上に努めるほか、牛群審査や検定成績証明、SNP検査の普及拡大を図っていく。

5年度の血統登録計画頭数は全国で20万6115頭、移動証明3970件、審査成績証明2万2790頭、検定成績証明7万2400件で、それぞれ前年度計画頭数を下回る見込みだ。

調査研究では、耐病性指数普及に必要な疾病等データの継続的利活用システムの構築をはじめ、後代検定体型調査の実施、SNP検査済牛への体型審査の実施、ロボット適合性指数の開発作業、Webサイトやスマートフォンによる情報提供の充実を図る。

また、本年11月にフランスで開催される世界ホルスタインフリージアン連盟の2023年世界ホルスタイン会議に出席して、主要国における最近の登録・改良等の情報収集を行う。

第16回全共については、令和7年10月に北海道安平町の北海道ホルスタイン共進会場での開催に向けて万全の準備を進めていく。

令和４年度正味財産増減計算書内訳表（令4.4.1～令5.3.31）　（単位：円）

科　目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合　計
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1．経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益		113,448	925	114,373
② 受取会費			30,330,000	30,330,000
③ 事業収益	1,041,577,020	166,435,464		1,208,012,484
④ 受取補助金等	135,003,824		100,000	135,103,824
⑤ 雑収益		44,417	3,706,258	3,750,675
経常収益計	1,176,580,844	166,593,329	34,137,183	1,377,311,356
(2) 経常費用				
① 事業費	1,260,404,100	79,434,588		1,339,838,688
② 管理費			35,014,975	35,014,975
経常費用計	1,260,404,100	79,434,588	35,014,975	1,374,853,663
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 83,823,256	87,158,741	△ 877,792	2,457,693
特定資産評価損益等		△ 190,000		△ 190,000
当期経常増減額	△ 83,823,256	86,968,741	△ 877,792	2,267,693
2．経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	1	0	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	0	△ 1
税引前当期一般正味財産増減額	△ 83,823,257	86,968,741	△ 877,792	2,267,692
法人税・住民税及び事業税		70,000		70,000
当期一般正味財産増減額	△ 83,823,257	86,898,741	△ 877,792	2,197,692
一般正味財産期首残高				897,749,949
一般正味財産期末残高				899,947,641
Ⅱ 指定正味財産期末残高				0
Ⅲ 正味財産期末残高				899,947,641

令和５年度収支予算書内訳表（令5.4.1～令6.3.31）

科　目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合　計
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1．経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益		100,000	10,000	110,000
② 受取会費			30,165,000	30,165,000
③ 事業収益	999,009,000	166,672,800		1,165,681,800
④ 受取補助金等	110,321,000			110,321,000
⑤ 雑収益		50,000	3,426,000	3,476,000
経常収益計	1,109,330,000	166,822,800	33,601,000	1,309,753,800
(2) 経常費用				
① 事業費	1,201,145,440	79,673,600		1,280,819,040
② 管理費			30,259,300	30,259,300
経常費用計	1,201,145,440	79,673,600	30,259,300	1,311,078,340
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 91,815,440	87,149,200	3,341,700	△ 1,324,540
特定資産評価損益等				0
当期経常増減額	△ 91,815,440	87,149,200	3,341,700	△ 1,324,540
2．経常外増減の部				
(1) 経常外収益				0
(2) 経常外費用				0
当期経常外増減額	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 91,815,440	87,149,200	3,341,700	△ 1,324,540
法人税・住民税及び事業税		14,200,000		14,200,000
当期一般正味財産増減額	△ 91,815,440	72,949,200	3,341,700	△ 15,524,540
一般正味財産期首残高				899,947,641
一般正味財産期末残高				884,423,101
Ⅱ 指定正味財産期末残高				0
Ⅲ 正味財産期末残高				884,423,101

第73回通常総会　中野サンプラザにて

日本ホル協特集

自動登録普及とゲノミック情報充実で

優良な牛群づくりをアシスト

（一社）日本ホルスタイン登録協会　会長　前田　勉

日本ホルスタイン登録協会会員の皆様には、日頃よりホルスタインの登録推進に対して多大のご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

日本ホル協では6月23日、久しぶりに全国からの社員並びに多くのご来賓を迎えて、第73回通常総会を開催することができました。

これまで約3年間、新型コロナウイルス感染症の影響は、第15回全共九州・沖縄大会の開催中止をはじめ、日本ホル協の主幹事業である血統登録や体型審査頭数の減少、総会や役員会、社員会議、登録委員研修会等の行事も書面あるいはオンライン開催等に切り替える等、本来の事業を思うように推進できなかった点について会員並びに関係の皆様には大変申し訳なく思う次第です。

さて、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化の影響と、歴史的な円安ドル高による価格の高騰が続き、酪農関係では配合飼料や燃油ほか酪農生産資材の価格高騰と生産コストの上昇が続いています。

一方、飲用乳の需要が低調に推移し、需給のアンバランスを改善すべく、酪農家は搾乳牛頭数の削減等による生乳生産の抑制に努力しておりますが、この厳しい状況に耐え切れず、酪農家の離農が急増し、全国で対前年比7％、都府県では9％近い酪農家戸数の減少が報告されています。

酪農家戸数の減少は、登録事業にも大きく影響し、令和4年度の会費申込、血統登録や審査成績証明頭数は前年度実績を大幅に下回り、経費節減に努めたものの、大変厳しい決算になりました。

また、全酪新報6月10日号には、Jミルクの23年度需給見通しのうち、乳用雌牛頭数に関する予測が掲載されていますが、将来の生乳生産を担う2歳未満の雌牛頭数が全国で1万8千頭減となるとの見込みであり、令和5年度以降も登録への影響が懸念される状況です。

日本ホル協では引き続き、安価で申込書不要の「自動登録」を推進し、改良母集団の確保に努めるとともに、牛群審査や牛群検定成績の活用に加えてSNP検査を普及して、より精度の高いゲノミック評価値等の情報還元の充実を図り、健康で長命連産し、より高い生涯生産能力を発揮できる、そして酪農経営の維持発展に貢献できるような優良な牛群づくりをアシストしていきます。

最後に、2年後の令和7年10月には、10年ぶりとなる第16回全日本ホルスタイン共進会を北海道安平町で開催いたします。多くの酪農家・関係者のご理解とご協力を賜りながら、その成功に向けて万端の準備を進めている所存です。

高得点牛紹介

『Dパイン』93点2E

群馬県　（株）阿部牧場

令和5年5月の群馬県前期体型審査において、吾妻郡高山村の（株）阿部牧場所有「A．F．K ダイアモンドバツク D パイン（平成29年8月15日生、5歳9月、父：ダイアモンドバツク」が、93点2Eに評価された。

本牛はこれまでに、2歳11月初産で85点、3歳9月2産で89点、4歳9月3産で91点と各産次で高得点を記録しており、今回5歳で4産目を分娩し、93点を獲得。本牛の母「デンプシー パイン（4歳5月）」EX90に続き2代エクセレントの快挙となった。

体型審査での各部の配点は、体貌と骨格93点、肢蹄92点、乳用強健性91点、乳器93点（6月20日確認審査）において認定。審査得点から分かるように、極めて正確な骨格構造を備え、姿勢は優美で背線は強く長く、胸幅は広く充実し、頸から肩・背・腰への移行良く、尻の構造は極めて正確である。また、肢蹄構造も優れており、肢姿は正しく飛節は鮮明でよくしまり、後肢側望並びに後肢後望ともに正確で優れている。なお、乳器において前乳房は腹壁に強く付着し、後乳房の付着は高く、極めて幅広く上方から下方にかけ一定の幅をもち、乳頭の配置は正確で、乳房底面は飛節より上に位置した機能的な構造を備えている。特に乳房全体が良く発達し、その質の良さから生産能力の高さが乳房全体に現れている。

一方、これまでの牛群検定の泌乳成績では、初産から3産までの平均乳量は1万2174㌔と高泌乳を示し、4産目も分娩後60日の時点で約50㌔／日を泌乳中である。泌乳能力の高さに加え繁殖性にも優れており、阿部牧場の管理技術の高さが窺える。今後も産次を重ねるとともに好体型を維持し、更なるEX更新に期待したい。写真はデーリィマン社より提供。

A．F．H　ダイアモンドバツク　D　パイン（4歳8月）
群馬県ブラックアンドホワイトショウにて撮影（R4．4．23）

乳牛改良の専門農協

北海道ホルスタイン農協

「第１８回 北海道総合畜産共進会（乳用牛部門）」開催予定

【日　時】令和５年９月２３日（土）８：00～17：15　２４日（日）８：00～13：00
【会　場】北海道ホルスタイン共進会場（勇払郡安平町早来新栄）
【2023 ゴールデンナショナルセール併催　９月２３日（土）（17：15～）】

詳しくは、当組合ホームページをご覧ください。

登録情報活用システム
RIUS（ライアス）
（一社）日本ホルスタイン登録協会が証明した
検定・審査成績、共進会賞歴をパソコンや
スマホで簡単検索！
在籍牛の血統登録状況も！
まずはアクセス！紹介動画も公開中！→

近交情報システム Web
近交係数の上昇を抑制できる
種雄牛をリストアップします！
雌牛ごと！
牛群一括で！
スマホでも！
リストアップ
可能です！

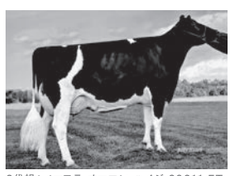
北海道ホルスタイン農業協同組合
〒001-0015　札幌市北区北 15 条西 5 丁目 1-5
【代　　表】TEL 011-726-3111　FAX 726-3135
【登録部証明課】TEL 011-726-3112　FAX 726-3124
【登録部電算課・改良課】TEL 011-700-2836　FAX 726-3124
【審 査 部】TEL 011-726-3114　FAX 700-2837
【経 済 部】TEL 011-726-3114　FAX 700-2837
ホームページアドレス：https://www.holstein.or.jp/

国内にゲノミックヤングサイアの旋風を巻き起こす
GNTP No.1のハイパーループ息牛登場！

JP5H60991
セカンド ループ　GNTP +3,764　Sort90
ハイパーループ×タヒチ×フラッグシップ

高祖母：リッチモンド エフデイー エス バーバラ ET
● No.1の産乳成分と優れた管理形質は牛群レベルを大きく底上げ！
● 母系は北米でも人気の「エス バーバラ」ファミリー！

GENOMIC YOUNG SIRE
▲詳細はこちら

JP5H60984
デーヴア　GNTP +3,463　Sort90
ジャマルコ×アルタモントーヤ×ライデン

6代祖：ノーフラ オーマン ハイジ 20611 ET
● ユニークな血統背景を持つジャマルコ息牛がデビュー！
● 特に前後乳房の付着や乳房底面の高さにおいて群を抜く改良力！

ハイレベルな産乳成分と理想的な肢蹄、
完成度の高い乳房構造は魅力満点！

一般社団法人 家畜改良事業団
〒135-0041 東京都江東区冬木 11-17 イシマビル　☎03-5621-8911
■十勝種雄牛センター　☎0155-54-2889
北海道事業所　☎011-242-9641
■盛岡種雄牛センター　☎019-683-2450
■前橋種雄牛センター　☎027-269-3311
東海近畿事業所　☎0564-57-2055
北関東駐在所　☎028-678-5424
■岡山種雄牛センター　☎0868-57-2475
■熊本種雄牛センター　☎096-279-2647
お問合せは、最寄りの種雄牛センターへ
※当団の性選別精液（Sort90）を用いた体外での胚生産等は許可していません。体内受精卵の生産は可能ですが、販売目的の場合は各種雄牛センターにご相談ください。